



発行：公益財団法人国際労務管理財団（IPM）

東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング7F

<http://www.ipm.or.jp/> TEL：03-3354-4841(代) FAX：03-3354-4847

TOPICS

ページ

インドネシア政府と人材派遣について協議しました

1

技術を磨く実習生

2

日本語学習の取組のご紹介

2024年IPM作文コンクール実施

JLPT対策WEB講座を実施しました

3

入管が生活オリエンテーション動画を配信

ベトナムフェスティバル開会式に登壇しました

モンゴル国への調査団派遣予定(予告)

4

ご寄付の御礼

インドネシア政府と人材派遣について協議しました

6月24日、インドネシアのBP2MIアジアアフリカ派遣局長のセリウリナ タリガン氏、インドネシアムスリム看護師協会（IPMI）とインドネシア看護師協会（PPNI）など、あわせて10人がIPM東京事務所を訪問し、インドネシア人材の送出し・受入れ事情やIPMなどで行う支援プロジェクトについて会議を行いました。

IPMからは、在日インドネシア人を支援する各団体等と協力して行っている、支援プロジェクトについて説明しました。これは、飲食料品製造分野で活躍されている特定技能外国人で、心室細動で闘病中のArdhi Sukowati Lubis（アルディ）さんに対し、治療費・生活再建費用の寄付を行うプロジェクトです。

アルディさんはIPMを通じて特定技能で来日し、入国後3カ月で難病に罹患し、一時は重篤な状態になりました。奇跡的に一命を取り留めたものの、就労ができない状態に陥りました。社会保険の加入期間も短いため、日本の様々な補償を受けることができず、困難を極めました。受入企業ほか皆様の人道的支援によって、治療を継続できています。これについて、セリウリナ氏からは感謝の意が述べられました。

また、インドネシアからの看護師派遣について意見交換がなされ、日本側で人材に求める基準が他の国々と比較し高いため、ハードルが高くなってしまっている等の報告がありました。

その他、理事長の池田が一般財団法人 外国人材共生支援全国協会（NAGOMi）にて行われている違法ブローカー排除の取り組みを紹介し、セリウリナ氏から高く評価する旨の言葉をいただきました。



(注：なお、家族の要望により、アルディさんは7月下旬に母国インドネシアに帰国する予定です。支援プロジェクトについては本ニュースP4「ご寄付の御礼」をご覧ください。)

技術を磨く実習生

一般社団法人三重県溶接協会主催 第43回三重県溶接技術競技会にて、JFEエンジニアリング株式会社津製作所 3号技能実習生 HTET NAING LIN (テット ナイン リン) さんが、炭酸ガスアーク溶接部門にて優秀賞を受賞されました。

同社は橋梁工事を主とした事業を展開されており、技能実習においても高い溶接技術が求められます。技能実習生はまず、配属日から約1ヶ月間、半特別教育を受講し、日本溶接協会半自動溶接技能者資格、基礎級及び専門級試験に挑みます。学科・実技試験共に日本語での出題のため、試験対策として専門用語や実技指導は先輩の技能実習生が通訳を行います。技能実習指導員、先輩の技能実習生が一丸となり指導を行うことで、受験者全員合格の実績です。

HTET NAING LIN (テット ナイン リン)さんは、母国ミャンマーでご家族が経営する溶接業の会社で働いた経験があります。更なる技術を習得したい思いから、2019年6月に入国し、JFEエンジニアリング株式会社津製作所にて半自動溶接の実習に励んでいました。

【テット ナイン リンさんへのインタビュー】

1.技能実習への思い

日本での技能取得は、自分が努力すればするほど新しい技術を身に付けられることに、日々やりがいを感じながら実習に取り組んでいました。

2.競技会で一番注意をしたこと

時間内に作業工程を終了させるため冷静な判断が必要だったことです。大変緊張しましたがミスが無かったことが成果に繋がったと思います。

3.これからの夢

私が日本で学んだ溶接技術を母国ミャンマーの次世代に引き継いで行きたい思いから、溶接技能養成学校を開きたいと考えます。



三重県溶接協会
坂本 知英 会長
より表彰を受ける
テット ナイン リンさん

本競技会での優秀賞受賞は、3号技能実習の目的であります「技能の熟達」を超えた素晴らしい事例です。

今後、益々のご活躍を応援しております。

日本語学習の取組のご紹介

児湯養鶏農業協同組合様は、ことしの4月に実習生と高千穂に日帰り旅行に行きました。



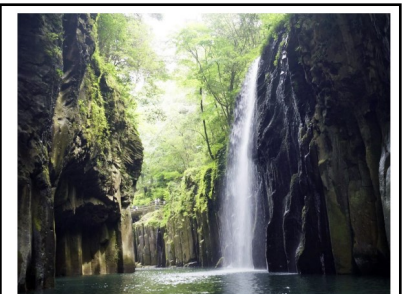
旅行の様子

その後、実習生が日帰り旅行の体験について、日本語で作文を書きました。

どの作文も、言葉選びの工夫や、書き方の創意など日本語学習への熱心な様子が浮かび上がってきます。内容もまた素晴らしく、実習生の目で見た日本の景色と心で感じ取った様子がありありと伝わってきました。

旅行の体験を作文にして共有することは、日本語の習得のモチベーションにもなっています。

作文を拝見して感動したIPM職員が、作文を冊子にして企業様と実習生にお渡ししました。渡した冊子は、企業様にも実習生にも、大変喜ばれて、記念になったとおっしゃっていただけました。



高千穂日帰り旅行 作文集

児湯養鶏農業協同組合

2024/4/14(日)

作文集の表紙

2024年IPM作文コンクール実施

今年もIPM日本語作文コンクールが開催されます！優秀者には賞金もありますので是非ご応募ください

◆賞金

- ・最優秀賞…10万円
- ・優秀賞…5万円
- ・努力賞…3万円

◆スケジュール

- ・応募開始日…8月1日
- ・応募締切日…8月31日
- ・結果発表…10月頃

◆参加の方法・条件

- ・原稿用紙（20×20）3枚
- ・テーマは自由です
- ・提出先…
実習先企業 or
IPM担当者 or
メール: tryoma@ipm.or.jp
- ※メールの場合、以下のQRコードからも提出できます



ご応募される方へのメッセージ

「今年も作文の季節がきました！みなさんのスキルを見せてください！どんな作文でもいいですから、感じたことを書いてみましょう。みなさんの作文を楽しみにしております」

JLPT対策WEB講座を実施しました

JLPT N4合格を目指す受験者を対象に、WEB講座を実施いたしました。

WEB講座はことし7月7日に行われたJLPT N4試験の対策を目的として、5月から7月まで毎月、WEB会議ツール「ZOOM」にて開催いたしました。

参加した実習生の、合格の手助けとなれば幸いです。今後もIPMはJLPT合格を目指す受験者を応援するた

めに、WEB講座を実施する予定です。

**JLPT 前に、IPM の先生と
楽しく勉強しましょう！！**

**ぜひ、みなさん参加して
一緒に合格を目指しましょう！
目指せ全員合格！！**

WEB講座開講のお知らせのキャッチコピー

入管が生活オリエンテーション動画を配信

入管が日本の生活ルール等を紹介する生活オリエンテーション動画をYouTubeにて配信しています。

この動画では、生活上のルールや仕事、税金など、日本での生活に必要な基本的な情報やルールを17言語（順次掲載予定）で紹介しています。

詳細はこちらから：

出入国在留管理庁「生活オリエンテーション動画」

https://www.moj.go.jp/isa/support/coexistence/04_00078.html



ベトナムフェスティバル開会式に登壇しました

2024年6月1日(土)、2日(日)に代々木公園で「ベトナムフェスティバル2024」開催され、推定来場者数18万人(ベトナム大使館集計)とたくさんの方が来場しました。

6月1日に行われた開会式では、理事長の池田に登壇いたしました。ベトナムフェスティバルは日越両国における文化交流の象徴的な祭典です。ベトナムと関わりの深いIPMも今回ベトナムフェスティバルに協賛しており、またIPMは引き続き日越の懸け橋としてサポートしていきます。



IPM理事長 池田も登壇した開会式の様子

モンゴル国への調査団派遣予定（予告）

2024年9月にモンゴル国へIPMより調査団を派遣する予定で、現在準備中です。今回の調査団は、現地の介護施設を訪問し、労働市場などの調査を行う予定です。

詳細決定しましたらHPでお知らせしますが、ご興味をお持ちでしたら、まずは貴社を担当しております、IPM職員へお問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

ご寄付の御礼

IPMを通じて飲食料品製造分野の特定技能人材として活躍されていた、インドネシアご出身のArdhi Sukowati Lubis（アルディ）さんが、今年4月に突然「心室細動」に襲われ、現在も日本にて闘病中です。

IPMでは、駐日インドネシア共和国大使館はじめ、関係各方面と協力しながら、アルディさんの今後の治療費や生活再建のための費用についてご寄付を募り、6月30日に締め切りました。

ご支援いただきました皆様、心よりお礼を申し上げます。

皆様から頂戴したご寄付はIPMが責任をもってお預かりし、全額アルディさんの治療費および退院後の生活支援に活用します。

